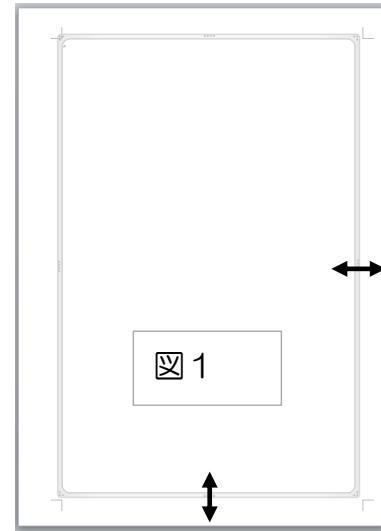
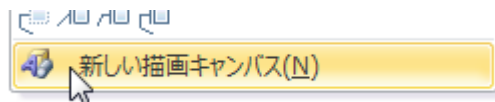


# ワード 2010 の図形で花の絵を描く

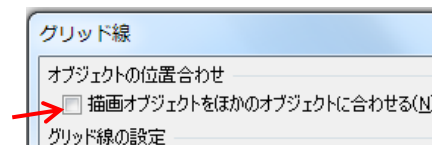
図形描画機能でびっくりするような緻密な絵が描けます。今回は今さかりのサクラソウを描きましょう。

1. 挿入→図→配布した「花びら.jpg」および「葉っぱ.jpg」を取り込む。  
これが下絵になります。
2. 挿入→図形→描画キャンバスをクリックして描画キャンバスを作ります。  
枠をドラッグして、用紙いっぱいに広げます(図1)。



※描画キャンバスを使う理由

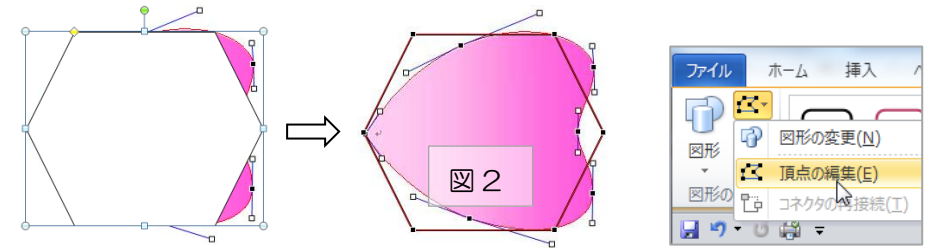
ワード 2010 から描画キャンバス以外では図形選択ツールで図形を囲んで複数の図形を同時に選択することが出来なくなりました。



## 3. 花びらを描く

まず、ページレイアウト→配置→グリッドの設定 でオブジェクトの位置合わせの☑を外します。

- ① 挿入→図形→六角形 を1.で取り込んだ花びらに被せるように六角形を作図します。  
六角形の塗りつぶしをなしにします。



- ② 書式→図形の挿入→頂点の編集
  - 一番右の頂点をクリックすると図2. のようなハンドルがでる。
  - 頂点はドラッグで移動できる
  - Shift を押しながら、片方のハンドルをドラッグするともう一方のハンドルも同じように変わる。
  - Ctrl を押しながらドラッグすると方向は同じだが長さは独立に変えることができる。
  - ALT を押しながらドラッグすると他方は固定し、無関係に変えられる。

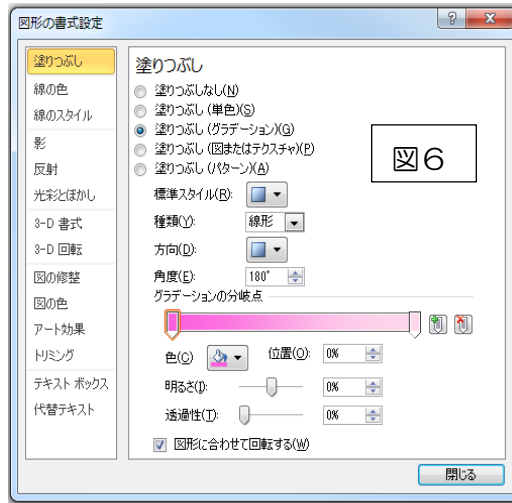
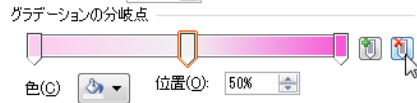
下絵の「花びら.jpg」をトレースするように頂点の移動やハンドルの調整を行う。

慣れてきたら、下絵なしで作図できるようになります。

- ③ 作図し終わったら下絵は目障りなので消去します (キャンバスを移動させて下絵をクリックで選んで DEL 消去)
- ④ 作図した花びら (無着色) をクリックして選択状態にし、描画ツール→書式→図形の枠線→白→0.75pt、塗りつぶし→その他のグラデーション→塗りつぶし (グラデーション) (G) をクリック

⑥ グラデーションを図 6 のように設定

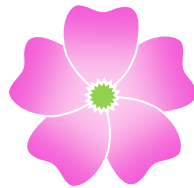
もし、分岐点が3個あったら不要な中央の分岐点をクリックしてから、右の×印をクリックすると消えます。



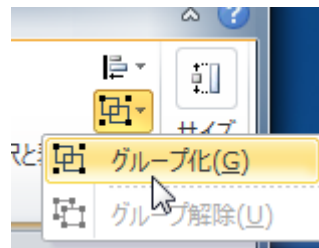
⑦ これではなびらが 1 枚できました。

これを 4 枚コピーしてそれぞれ回転して花にします。

⑧ 真ん中に 挿入-図形-星 16 を描く。  
枠-白の 0.75pt、塗りつぶし-黄緑



⑨ この花全体を選択ツールで囲み、グループ化する。

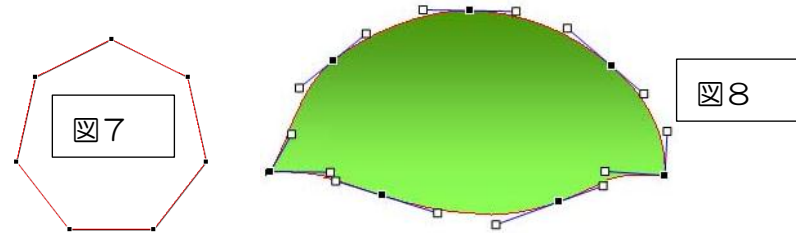


3. 葉っぱを描く

① 挿入-図形-7 角形

② 書式-図形の挿入-頂点の編集

はなびらと同様に各頂点を図 8 のように加工。

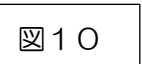
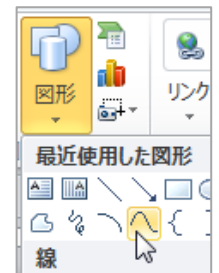


③ 同じく描画ツール-書式-図形の枠線-なし、

塗りつぶし-その他のグラデーション-塗りつぶし (グラデーション) (G) をクリック

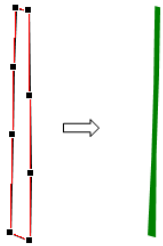
第 1 色を濃い緑色、第 2 色を薄い緑色にする。

④ 図形-曲線 (図 10) で葉脈を描く。葉脈を選択して、色を緑にする (図 9)。



⑤ この葉っぱ全体を選択ツールで囲み、グループ化する。

- ⑤ 図形-フリーフォーム で茎を描く。  
枠なし、塗りつぶし=緑



#### 4. 作った部品を組み合わせて花に仕上げる

##### うまく作るコツ

- 各パーツを拡大/縮小、回転で変化をつけながらレイアウトする。
- 書式-配置 の前面/背面で立体感をつける。
- 花の茎は図10と同じく「曲線」を使い、最背面に移動します。

